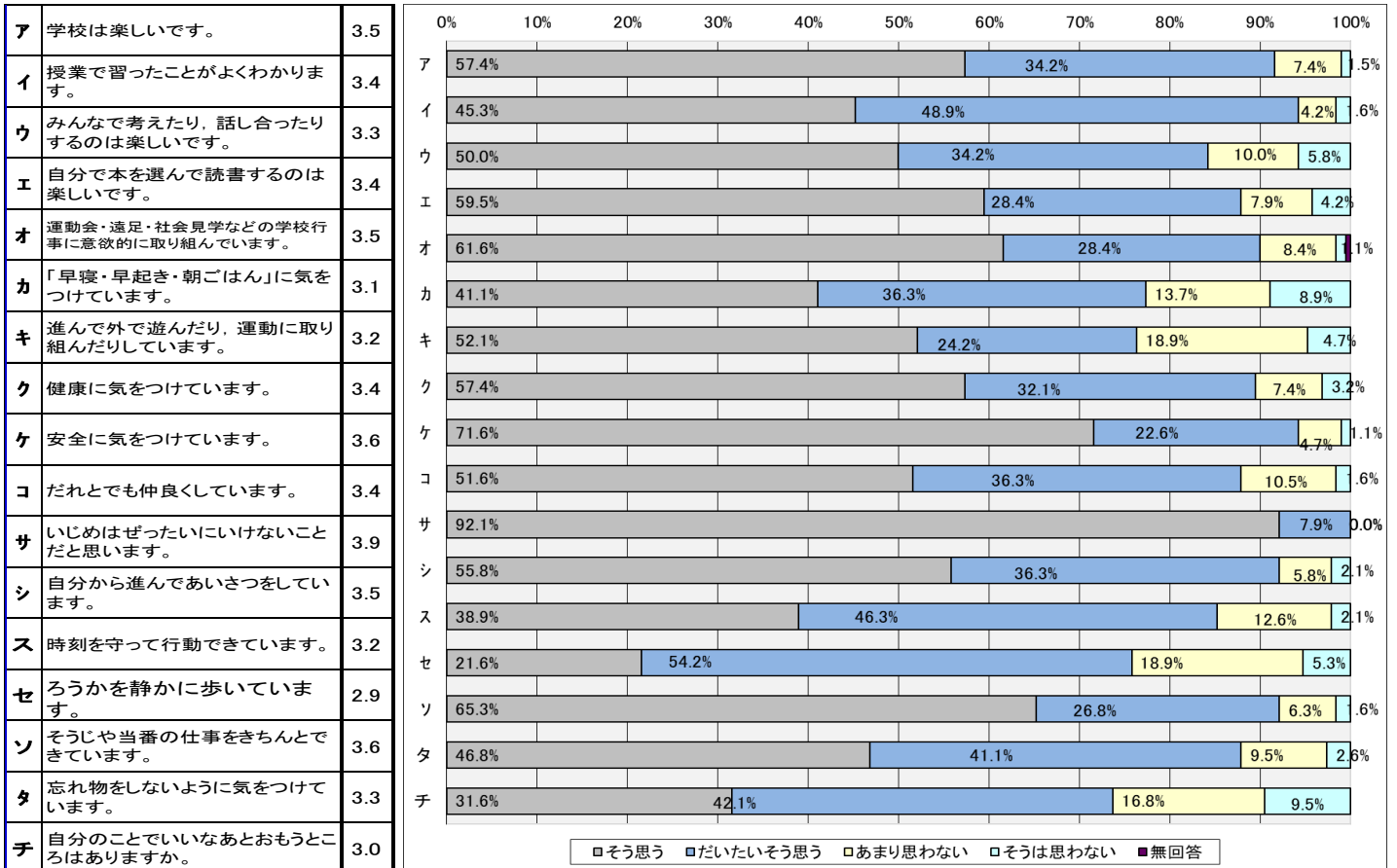




橋北小学校
学校だより
No.29
R2. 2. 19

12月に、保護者の皆様にご協力いただきました学校教育活動アンケートの結果をお知らせいたします。児童アンケート及び保護者アンケートの結果は、今後の学校改善に役立てていきます。

【令和元年度 児童アンケート結果】



【児童アンケートの考察及び今後の取り組み】 * ()内は、昨年度比

回答の選択肢は、A：「そう思う」、B：「だいたいそう思う」、C：「あまり思わない」、D：「そうは思わない」です。チ「自分のことでいいなあと思うところがありますか。」については、A：「ある」、B「すこしある」、C：「あまりない」、D：「ない」です。

ア 「学校は楽しいです。」

A, Bの回答を合わせて92%（-2ポイント）でした。90%以上の子が、「学校は楽しい」と回答していることはうれしいことですが、約8パーセントの子どもたちがC, Dと回答しています。今後も一人ひとりの子どもに目を向け、すべての子が楽しく学校に来られるようになるためには何が必要かを探りながら、さらなる取り組みを進めていきます。

イ 「授業で習ったことがよくわかります。」

A, Bの回答を合わせて94%（-1ポイント）と昨年度とほぼ同程度の高い数値でした。今年度は全学年で少人数授業やティームティーチング授業を取り入れています。今後もわかる、できる授業づくりに力を入れていきます。

ウ 「みんなで考えたり、話し合ったりするのは楽しいです。」

A, Bの回答を合わせて84%（-5ポイント）でした。本校では、「対話」を取り入れた活動を大切にしています。それに伴い、「スーパー橋北っ子」に新しく「みて、きいて、伝えよう」を取り入れました。しかし、子どもたちが意識することはまだまだ少ないといえます。考えること、伝えることの

大切さを授業の中で伝えつつ、その楽しさを実感できる授業づくりに努めていきます。そして、友だちとともに未来を生き抜いていくことのできる子どもたちを育てていきたいと思ひます。

エ 「自分で本を選んで読書をするのは楽しいです。」

A, Bを合わせた回答が88%で、昨年度と比べて-3ポイントとなりましたが、一昨年以前と比べるとそれまでより高い数値を示しています。例年続けている読書週間に加え、図書ボランティアの方々による読み聞かせや語り聞かせ及び図書室環境の整備、地域団体からの学級図書の寄贈などにより図書に出会う機会や関心が増したことがその一因と考えられます。教室でも教師による読み聞かせをするなど、本に興味や関心が持てるようなさらなる取り組みを進めていきます。

オ 「運動会・遠足・社会見学などの学校行事に意欲的に取り組んでいます。」

A, Bの回答を合わせて90% (-4ポイント)でした。意欲的に取り組んでいる児童が多いものの、昨年度より若干低い数値となりました。今後、それぞれの行事の意義を伝えたり子どもたちに考えさせたりすることをより大切に、子どもたちが主体的に取り組める活動となるように努めます。

カ 「早寝・早起き・朝ごはん」に気をつけています。」

ク 「健康に気をつけています。」

A, Bの回答を合わせて、カは77% (-11ポイント)、クは89% (-4ポイント)でした。「生活習慣チェックシート」の取り組みは、よりよい生活習慣の意識づけに役立っていると思われまひます。しかし、夜遅くまで起きていて起床時刻に起きることができず、朝ごはんを食べることができない姿も見られます。今後とも、お子様との会話の中で生活習慣について話題にさせていただくなど、引き続きご家庭のご協力をお願いいたします。学校では、「生活習慣チェックシート」の取り組みや本年度より始めた食後の歯磨きの取り組みを次年度以降も継続していきます。

キ 「進んで外で遊んだり、運動に取り組んだりしています。」

ケ 「安全に気をつけています。」

A, Bの回答を合わせて、キは76% (-5ポイント)、ケは94% (-1ポイント)でした。休み時間、多くの子どもたちが運動場で遊んでいます。5分間走に熱心に取り組む姿も見られました。体育・給食委員会が中心となって12月には委員会遊び、1月には大縄チャレンジ週間を行っています。しかし、24%の子どもたちがD, Eと回答していることを考え、今後、運動の楽しさを実感できるような体育の授業や、「スーパー橋北っ子」の「はれたら 元気に 外遊び」をより意識できるような取り組みを進めていきます。

安全に対する意識は、昨年度とほぼ同じ高い数値となっています。今後も高い意識を持ち続けられるよう取り組んでいきます。

コ 「だれとでも仲良くしています。」

サ 「いじめはぜったいにいけないことだと思います。」

サについては昨年度、一昨年度同様に100%でした。学校・家庭・地域での取り組みの成果だと思ひます。しかし、コについては88% (-8ポイント)で、学年別でみると低学年で90%をきる結果でした。みんなと仲良くしたいけれど、感情のコントロールが難しく、けんかをしてしまったり、遊ぶ友だちを選んでしまったりすることが多いという自覚が子どもたちにあるのかもしれない。今の自分たちを振り返ることからはじめ、価値観を広め、よりよい人間関係を構築できるよう日々の取り組みを進めていきます。

シ 「自分から進んであいさつをしています。」 92% (-1ポイント)

ス 「時刻を守って行動できています。」 85% (-5ポイント)

セ 「ろうかを静かに歩いています。」 76% (-9ポイント)

ソ 「そうじや当番の仕事をきちんとできています。」 92% (-3ポイント)

タ 「忘れ物をしないように気をつけています。」 88% (-3ポイント)

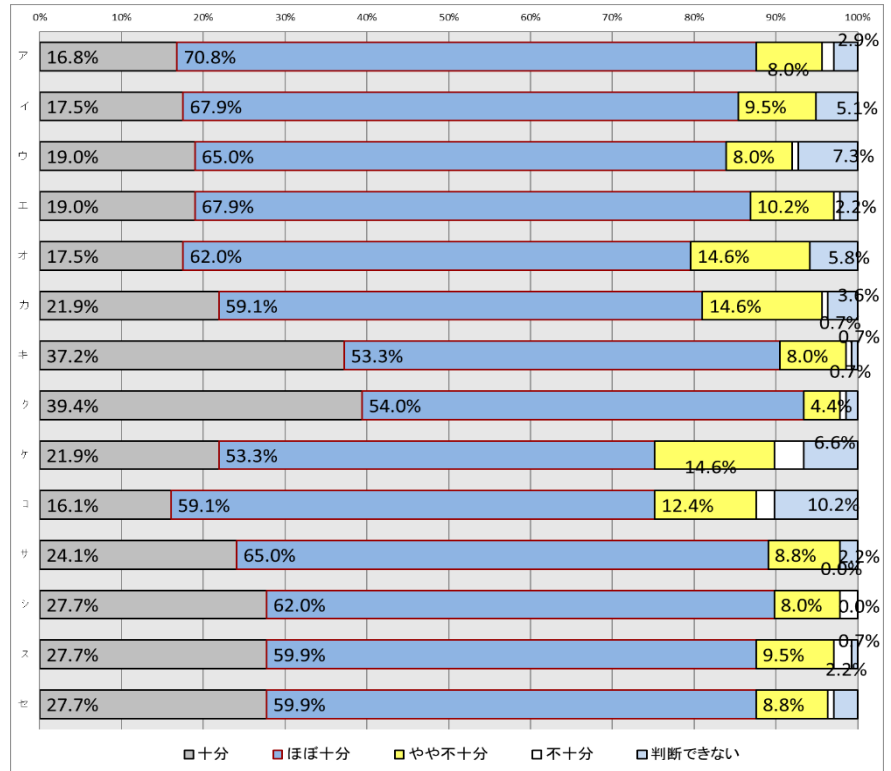
基本的な学校でのきまりに関する内容で、「スーパー橋北っ子」として学校内に掲示したり、毎月児童会が生活目標として全校によびかけたりしている内容です。「ろうかを静かに歩く」については昨年度から9ポイント下がっていますが、児童会で休み時間に呼びかけるなどの取り組みを行い、児童の意識が高くなったためと考えられます。今後は自覚を行動に移せるように、子どもたちとともに、教職員全員が意識を統一して当たり前のことが当たり前にできるよう指導にあたっていきます。

チ 「自分のことでいいなあと思うところはありますか。」

毎年、数値の低い項目であり、今年度も74%で昨年度に比べ9ポイント低い結果となりました。個々の児童のアンケートを分析していくと、なりたひ自分と現実の一面的なギャップが自尊感情の低さを生んでいると思われまひます。自尊感情を高めるためには、なりたひ自分に近づくために力をつけることと、自分の価値観を広めることが必要です。「わかった」「できた」という学習の場面での達成感、係活動や行事での役割を果たすことによる自己有用感を大切にしていきます。また、地域の方々との交流や体験活動を通し、子どもたちの価値観を広げていくように努めます。家庭でもその子らしさを認め、たくさんほめていただきたいと思ひます。

【令和元年度 保護者アンケート結果 (回収率 90.7%)】(昨年度回収率 91.4%)

ア	全体として、学校の教育活動は満足できる。	3.1
イ	学校は、学校づくりビジョン(めざす学校・めざす子どもの姿)の実現に努めている。	3.1
ウ	学校は、子どもたちに生活や学習上の困難がある場合に適切な指導や支援を行い(特別支援教育)どの子も自分の力を発揮して学習や活動に参加している。(「特別支援教育」とは、教育上特別の支援を必要とする児童に対し、学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な教育を行うことです。)	3.1
エ	学校は、基礎基本(読む力・書く力・聞く力・話す力・計算する力)の定着に努めている。	3.1
オ	学校は、課題を解決する学習を工夫し、基礎基本を活用する力や考える力を育てようと努めている。	3.0
カ	学校は、家庭学習(宿題を含む)の定着・習慣化を図れるように(保護者と連携して)取り組もうと努めている。	3.1
キ	学校は、子どもの読書活動の充実に努めている。(朝の読書・読書週間・読み聞かせ・家庭読書の取り組みなど)	3.3
ク	学校は、運動会・修学旅行・遠足・社会見学などの学校行事や人から学ぶ体験活動に子どもたちが(生き生きと)取り組めるように努めている。	3.3
ケ	学校は、基本的な生活習慣、社会生活上のルール及び道徳性を家庭とともに身につけさせるよう努めている。	3.0
コ	学校は、いじめや差別のない、人権や個性を大切にした教育に努めている。	3.0
サ	学校は、健康で安全な生活が送れるための指導に努めている。	3.2
シ	学校は、児童の体力向上のために、運動に親しむ活動や体育の授業の充実に努めている。	3.2
ス	学校は、通信や便り(学校・学年・学級)・HPなどで学校や子どもの様子を伝えることに努めている。	3.1
セ	学校は、保護者や地域の人々と一緒に子どもを育てる取り組みに努めている。	3.2



【保護者アンケートの考察及び今後の取り組み】 * () 内は、昨年度比

◎ 全体として

ほとんどの項目において、「十分」「ほぼ十分」の回答率が80%以上となっています。ア「全体として、学校の教育活動は満足できる。」では88%、イ「学校づくりビジョンの実現に努めている」では85%の値でした。両項目とも85%を超える高い値を示していますが、昨年度と比べると、アの項目では、3ポイント、イの項目では6ポイントの減少でした。昨年度は両項目とも90%を超える値であったため、この数値の減少を真摯に受け止め、今後も学校づくりビジョンの実現に向けた継続的な教育活動の取り組みを進めていきます。各項目においても、「十分」「ほぼ十分」の割合が80%に満たないものがあります。経年変化を捉えながら、その原因等を考察し、今後の改善につなげていきたいと考えています。

エ「学校は、基礎基本(読む力・書く力・聞く力・話す力・計算する力)の定着に努めている。」

オ「学校は、課題を解決する学習を工夫し基礎基本を活用する力や考える力を育てようと努めている。」

エの項目は、「十分」「ほぼ十分」の割合が87%(-4ポイント)でした。また、オの項目も80%(-9ポイント)と学力に関する評価が下がっています。学校では、少人数学習やチームティーチングを全学年に取り入れています。今後も子どもたちの強み・弱みを探り、プリントやドリル等を活用した繰り返し学習を基本とした学力の定着を図ります。また授業では、考えたり話したりすることが楽しいと実感できるような学習をし、子どもたちに確かな学力を身に付けさせていくように努めます。

カ「学校は、家庭学習(宿題を含む)の定着・習慣化を図れるように(保護者と連携して)取り組もうと努めている。」

キ「学校は、子どもの読書活動の充実に努めている。」(朝の読書・読書週間・読み聞かせ・家庭読書の取り組みなど)

カの項目は「十分」「ほぼ十分」の割合が81%(-6ポイント)でした。

家庭学習の充実については、宿題を中心とした復習による学力定着とともに、自主勉強を含めた学習習慣の確立を目指しています。また、学習習慣(学年×10分)や読書週間(1日10分以上)が学力に関連しているとの調査結果もあります。そこで、今後、音読カードや家庭学習チェックカード等での取り組みを進め、ご家庭との連携にさらに努めていきます。

キの項目は「十分」「ほぼ十分」の割合が91%(-1ポイント)と昨年度とほぼ同様の評価でした。学校における読書活動の充実については、学校図書(図書委員会や図書ボランティア等による活動)を継続して行っています。また、今後も橋北中学校区で連携した「生活習慣・読書チェックシート」「ノーテレビ・ノーゲーム・ノー携帯デー」の取り組みを継続していきます。子どもたちによりよい学習習慣や読書週間が身につくように、学校と家庭とのさらなる連携をお願いします。

ケ「学校は、基本的な生活習慣、社会生活上のルール及び道徳性を家庭とともに身につけさせるように努めている。」

コ「学校は、いじめや差別のない、人権や個性を大切にした教育に努めている。」

ケの項目・コの項目とも、「十分」「ほぼ十分」の割合が75%（ケ -9ポイント、コ -5ポイント）とともに減少しています。学校全体を見ると、学年関係なしに思いやりのある態度で接したり、やさしい言葉がけをしたりする子どもたちの姿はたくさん見られます。しかし、中には、相手を思いやることのできない言動やきつい言葉使いで話をする子どもの姿が見られるのも否めません。これまでも、いじめ防止の標語づくり・花いっぱい運動の取り組みや各クラスにおける仲間づくりの取り組みを進めてきました。しかし、更なる規範意識や人権尊重の意識を育む取り組みに力を入れていきます。また、日々の仲間づくりの様子を発信したり、道徳の授業を公開する機会を設けたりして、子どもたちの様子を知らせていただき、子どもたちが学校でも家庭や地域でも豊かな心づくりができるように環境づくりに努めていきます。

さらに、子どもたちの自尊感情を育むために、地域の方々とふれあいや体験活動・様々な学校行事などを通して、達成感や充実感・自己有用感を感じさせ、子どもたちが自信を持ち、自分自身や相手のことを大切に思えるような取り組みを進めていきます。

サ「学校は、健康で安全な生活が送れるための指導に努めている。」

シ「学校は、児童の体力向上のために、運動に親しむ活動や体育の授業の充実に努めている。」

サの項目は昨年度に比べ、「十分」「ほぼ十分」の割合が89%（-2ポイント）、シの項目は90%（+3ポイント）でした。今年度も、体育の授業開始の5分間運動や、全校かけ足、休み時間における外遊びの設定等、子どもたちの体力の向上に向けた活動を引き続き行っています。新体力テストや持久走記録会では、これまでの記録を残しておくことで、各自が運動に取り組む目標を持ち、子どもたちの意欲向上につながりました。また、体育授業の充実に図り、4・5年生でゲストティーチャーを招いた授業も行いました。今後も体育や休み時間を中心に、更なる効果的な体力作りの取り組みを行っていきます。

ス「学校は、通信や便り（学校・学年・学級）・HPなどで学校や子どもの様子を伝えることに努めている。」

セ「学校は、保護者や地域の人々と一緒に子どもを育てる取り組みに努めている。」

スの項目は、「十分」「ほぼ十分」の割合が88%（-6ポイント）でした。通信やホームページ等の学校からの情報発信は、学校の現状や教育内容を知っていただくだけでなく、家庭・地域・学校が協力・協働して子育てを行っていくために必要な大切な活動と考えています。この結果を重く受け止め、今後も、子どもたちの様子や活動内容を積極的に情報提供していきたいと考えています。

セの項目は、「十分」「ほぼ十分」の割合が88%（-1ポイント）でした。各学年における地域学習や地域との合同防災学習、地域の方々から学ぶ体験活動等、本年度もたくさんの方々にご協力いただき感謝しております。今後も保護者や地域の方々との連携を深めながら、児童の貴重な体験となる取り組みを進めていきたいと思えます。

【個人的にお寄せいただいたご意見】（抜粋）

○ 保護者があいさつしているのに、声が小さい。相手に聞こえていなかったらこれも意味がないと思います。今一度学校でご指導よろしくをお願いします。

⇒あいさつは心の教育の基本です。あいさつを交わすところから人と人とのつながりも生まれます。また、目指す「スーパー橋北っ子」の中の項目にも「すすんであいさつ自分から」があります。学校では、児童会を中心にあいさつ運動をおこなったり、各学級で「なぜ、あいさつが大切なのか」などを考え合ったりし、あいさつが積極的にできるよう取り組んでいます。しかし、あいさつはそれだけで活発になるわけではありません。気持ちが落ち込んでいる時、自分に自信が持てない時など、元気なあいさつはできません。子どもたちの心が明るくなれるよう、また、自尊感情が育まれるよう教育活動全体を通して取り組むことも大切だと考えています。あいさつは心のバロメーターとも言えます。元気なあいさつが飛び交う橋北小学校を目指して、地域・家庭の皆様と連携・協力しながら今後も取り組みを進めていきたいと考えております。

コミュニティスクール運営協議会からの意見

○基礎基本の習得のためにも少人数授業の継続をお願いします。

○自分のことを肯定できない児童の比率が高いことが気になる。低評となった原因は何か考える必要がある。自尊感情を高めるかわり方も大切である。（学校だけでなく家庭や地域でも）

○なわとび週間などの他に、目標を持たせ積極的に楽しく運動させる取り組みは今後も継続してほしい。

○子どもたちが夢を抱き、やる気を持って行動できるよう、学校・地域・家庭とで子どもたちを育てていく取り組みを希望する。等